

# 第11回 日本質量分析学会 北海道談話会・講演会

2014

7/25(金) 13:30~18:00  
受付13:00~

会場

北海道大学薬学部 1階 臨床薬学講義室  
札幌市北区北 12 条西 6 丁目

参加  
無料

イオン化黎明期から、FAB BEBE まで

伊佐 公男 (仁愛大学)

1980年初頭、ソフトなイオン化開発についてのシンポジウムが幾度となく開催され、議論が盛んに行われていた時代に FOM 研究所で研究していた演者は、その後の MS 発展のきざしを感じてきた。自分が行ってきた MS/MS・イオン化メカニズム・熱分解 MS 研究のその後を報告したい。

クロマチンとエピジェネティクス

－質量分析計と次世代シーケンサーを活用した研究のはなし－

小布施 力史 (北海道大学)

私たちは、遺伝情報はどうやって正確に受け継がれ、どうやって巧みに使われて複雑な体を作っているのか、それを担う「遺伝とエピジェネティクスの仕組」について研究しています。本発表では、質量分析計や次世代シーケンサーを用いた網羅的な解析が、如何に私たちの研究の役に立っているのかについてお話ししようと思います。

バイオ医薬品の開発・製造と質量分析

川崎 ナナ (国立医薬品食品衛生研究所)

近年、医薬品世界売上上位を抗体医薬品等バイオ医薬品が占めています。臨床の場においても、糖尿病、腎性貧血、関節リウマチやある種の抗悪性腫瘍治療では、バイオ医薬品は不可欠な医薬品となっています。本セミナーでは、バイオ医薬品の開発及び製造において、質量分析がどのように役立っているかを紹介します。

## ◆総合討論～ジンギスカンとビールの会～

時間：19:00～

会場：サッポロビール園

会費：4500円

※当日ご欠席の場合もご負担していただきます

事前の申し込みが必要です（7月8日まで）

## ◆お申し込み

- ①氏名②所属③日本質量分析学会員の有無
- ④総合討論会参加の有無を添えて、下記の問い合わせ先へメールでお申し込みください

※資料をご用意しますので、事前申込にご協力ください。

※記録のために写真撮影を行います。あらかじめご了承ください。

当日参加  
歓迎

気軽に普段着で  
ご参加ください

非学会員  
歓迎

どなたでも  
ご参加いただけます

